

令和7年度 第26回国頭地区新人空手道競技大会要項

(第52回 国頭地区中学校新人総合体育大会 空手道競技)

- 1 主催 国頭地区中学校体育連盟
- 2 共催 沖縄県教育委員会
- 3 日時 令和7年 11月 29日(土)
集合9:00(マット設営開始) 監督会9:30 審判会議9:45 開始10:15
- 4 会場 21世紀の森体育館
- 5 企画・運営 地区中体連空手道専門部
- 6 競技種目 ○男子個人組手・形 ○女子個人組手・形
※男女とも学年プールで行う。
- 7 参加人数 男女とも参加人数の制限はない。
選手の引率、監督は当該校の教職員及び当該団体の責任者とする。
- 8 競技規則 (公財)全日本中学校空手道連盟競技規定に準じ、監督会の申し合わせ事項に従って行う。
- 9 競技方法 (1)形競技(個人戦)
 - ① 赤青フラッグ制のトーナメント方式とする。
 - ② 1・2回戦は第1指定形から選ぶ。(くり返し可)
 - ③ 3回戦から準々決勝までは第2指定形から選ぶ。(くり返し可)
 - ④ 準決勝と決勝は競技形リストから選ぶ。
ア、準決勝と決勝は別の形とする。
イ、それまでに使用した形(第1・2指定形)を1つ再使用してもよい。
 - ⑤ 2回戦または3回戦が準決勝となった場合は、第2指定形から選ぶ。決勝は競技形とし、それまでに使用していない形とする。
 - ⑥ 準々決勝から個別演武とし、事前に形名を申告する。それまでは、同時演武とし、事前の形名の申告は不要とする。(2)組手競技については次の通りとする。
 - ① 1分30秒6ポイント差で行う。同ポイントの場合は、フラッグ判定とする。
 - ② 時間内に勝敗がつかない場合は、「先取」した競技者を勝者とする。「先取」が無い場合、旗判定を行う。
 - ③ 競技者はニューメンホー、ボディプロテクター、拳サポーター(全国中学校空手道連盟認定の赤・青とする。セーフティーカップを着用し、寸止めルールに従い安全具着用箇所をポイントとする。※参加人数により競技方法の変更もありえる。その場合、監督会にて確認する。
- 10 組み合わせ 本部抽選 (第28回 沖縄県中学生新人空手道競技大会の結果を参考にする)
- 11 参加料 一人につき500円
- 12 申し込み 令和7年 11月4日(火) 15:00 締め切り (名護中 玉寄)
- 13 監督会議 実施なし ※ 参加監督にミライム等で抽選結果及び詳細をお送りします。
- 14 表彰 優勝・準優勝・3位を表彰する。
- 15 その他
 - ・安全具は各学校で準備する
 - ・参加心得を守り競技を行う
 - ・ゴミは各自で持ち帰ること
 - ・各学校の引率教員に大会役員(補助員)を割り当てる。
 - ・引率者の服装は白のワイシャツかブラウス・ポロシャツで統一とする。

第26回国頭地区中学校新人総合体育大会空手道競技「細則」

1 選手の服装など

- (1) 空手着は白無地一色とし、落書きやふちどりのあるものは禁止とする。
- (2) 学校名、団体名が左胸にあること。（文字は黒色の縦書きで20 cm×8 cm程度、安全ピンで留められている場合は棄権とする）
- (3) 上着の袖の長さは、最長手首までとし、肘から手首の間の中ほどより短くてはならない。
- (4) ズボンの長さは、脛を覆うほどの長さとし、踝が隠れてはならない。
- (5) 競技者は手足の爪を短くし、相手に傷を与えるような物を身につけてはならない。
- (6) 女子選手の髪留めのゴムバンドは黒か茶のみとする。その他の装飾品は認めない。
- (7) 女子の肌着は白無地のTシャツとする。（ワンポイント、校名は認める）
- (8) 競技者の服装が正しくなかった場合、服装を正すために1分間が与えられる。（正せない場合は失格）
- (9) 空手着のヒモは結ぶこと。ヒモなしの空手着は不可とする。
- (10) 帯の長さは、大腿部の3/4を超えない程度とする。また、帯留めは使用してはならない。

2 形競技

- (1) 「（公財）全日本空手道連盟指定形」とは以下の形である。

【第1指定形】

- ・糸東流（セイエンチン、バツサイダイ）
- ・剛柔流（サイファ、セーパイ）
- ・松濤館流（カンクウダイ、ジオン）
- ・和道流（セイシャン、チントウ）

【第2指定形】

- ・糸東流（マツムラローハイ、ニーパイポ）
- ・剛柔流（セイサン、クルルンファ）
- ・松濤館流（エンピ、カンクウショウ）
- ・和道流（クーシャンクー、ニーセイシー）

- (2) 団体形の演武において発声が認められるのは「形の呼名」と「演武中の気合い」のみとする。
- (3) 使用できる形の種類は次の通りとする。

	使用できる形
1, 2回戦	第1指定形、鉄騎（ナイハチ）初段～3段、三戦、撃砕Ⅰ・Ⅱ 平安（ヒンアン）初段～5段
3回戦から準々決勝	第2指定形
準決勝、決勝	競技形（決勝と準決勝は別の形を使用し、どちらか一方は一度も使用していない形を使用する）

- (4) 演武開始の礼と終了の礼をしなかった場合、反則となり得る。

※参加人数により競技方法の変更もありえる。

3 組手競技

- (1) 得点となる攻撃部位は下記の通り。
「頭部」、「顔面」、「頸部」、「腹部」、「胸部」、「背部」「わき腹」である。
- (2) 得点の種類は下記の通り。
「1本」＝3ポイント、「技あり」＝2ポイント、「有効」＝1ポイント
- (3) 下記を基準に得点部位への技に対し点が与えられる。
「良い姿勢」、「スポーツマンらしい態度」、「気力」、「残心」、「適切なタイミング」、
「正確な距離」